

2023年8月28日

JR九州エージェンシー株式会社

吉野ヶ里歴史公園「特別企画展」今年も開催！

JR九州エージェンシー株式会社が管理委託業務に参加する国営吉野ヶ里歴史公園で、特別企画展「よみがえる邪馬台国」を開催します。15回目となる今年はシリーズ「倭人伝のクニを探る」第5弾として、九州への大陸文化流入の玄関口であった「有明海」沿岸の遺跡群の最新調査成果から、往時のクニの全貌に迫ります。ぜひご来園ください。

1. イベント名 **特別企画展「よみがえる邪馬台国」
倭人伝のクニを探る【V】～邪馬台国と有明のクニⅡ～**
2. 開催期間 **2023年9月23日（土・祝）～11月12日（日）**
3. 開催時間 **9：00～17：00**
4. 開催場所 **吉野ヶ里歴史公園 公園東口・歴史公園センター「多目的ルーム」
佐賀県吉野ヶ里遺跡展示室（吉野ヶ里歴史公園内）**
5. 料 金 **観覧無料（但し入園料は別途必要です）**
〔入園料：大人460円・小人（中学生以下）無料・シルバー（65歳以上）200円〕
6. イベント内容 「魏志倭人伝」の時代の遺物、資料から地域に存在したクニの特色を探るシリーズ「倭人伝のクニを探る」。
今回の展示では、弥生時代に玄界灘と並び大陸文化流入に重要な位置を占めた「有明海」に注目し、その沿岸に所在する佐賀県佐賀市・武雄市・小城市・吉野ヶ里町、長崎県島原市などの遺跡からの出土品とともに、最新の発掘調査成果を紹介しします。
また弥生文化の伝播や九州と近畿との交流において、重要な航路であった瀬戸内海の中央部に位置し、独自の文化を築いた讃岐（香川県）の弥生時代も併せて紹介しします。
10月1日（日）には特別記念フォーラムを開催し、邪馬台国九州説と近畿説双方の基調講演、討論を行います。
7. お問い合わせ **吉野ヶ里公園管理センター**
（〒842-0035 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手1843）
TEL：0952-55-9333

担当：企画係 高尾

吉野ヶ里歴史公園

特別企画展

YOSHINOGARI HISTORICAL PARK

SPECIAL

EXHIBITION

倭人伝
のクニ
を探る

[V]

邪馬台国と 有明のクニ II

観覧料
無料

入園料および駐車場は有料

有明のクニの全貌にせまる。

沿岸に所在する遺跡群の最新の発掘調査成果から、

玄界灘と並び大陸文化流入の

玄関口「有明海」のシリーズ第2弾。

よみがえる

Y O M I G A E R U Y A M A T A I K O K U

邪馬台国



弥生人の声が開こえる

吉野ヶ里歴史公園

YOSHINOGARI HISTORICAL PARK

2023. 9.23(土)～11.12(日)

開催場所

公園東口・歴史公園センター「多目的ルーム」
佐賀県吉野ヶ里遺跡展示室

【主催】吉野ヶ里歴史公園マネジメント共同企業体 吉野ヶ里公園管理センター 佐賀県 【協賛】株式会社千鳥屋本家 【監修】佐賀女子短期大学名誉教授 高島忠平

■後援：国土交通省九州地方整備局国営海の中海浜公園事務所、九州国立博物館、神崎市、吉野ヶ里町、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、九州旅客鉄道株式会社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社、NHK佐賀放送局、サガテレビ、NBCラジオ、エフエム佐賀 ■協力：佐賀県文化財保護・活用室、佐賀県立博物館、佐賀市、唐津市教育委員会、小城市教育委員会、吉野ヶ里町教育委員会、長崎県埋蔵文化財センター、島原市教育委員会、大分県立埋蔵文化財センター、大分県立歴史博物館、九州大学、九州大学埋蔵文化財調査室、香川県教育委員会、香川県埋蔵文化財センター、香川県立ミュージアム、高松市教育委員会、高松市埋蔵文化財センター、三豊市教育委員会、三豊市詫間町民俗資料館・考古館

倭人伝
のクニ
を
探る
[V]

邪馬台国と有明のクニ II



朝鮮系無文土器
(増田遺跡)

銀製指輪
(惣座遺跡)
＜佐賀県指定文化財＞



青銅器鑄型
(鍋島本村南遺跡)
＜佐賀県指定文化財＞



多紐細文鏡
(本村籠遺跡)
＜佐賀県指定文化財＞



巴形銅器
(桜馬場遺跡)
＜佐賀県指定文化財＞



巴形銅器(東宮樞遺跡)＜佐賀県指定文化財＞



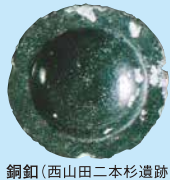
鉄剣形銅剣(景華園遺跡)
＜長崎県指定文化財＞



装身具(景華園遺跡)
＜長崎県指定文化財＞



中細形銅矛
(景華園遺跡)
＜長崎県指定文化財＞



銅鏡(西山田二本杉遺跡)
＜佐賀県指定文化財＞



方格規矩四神鏡
(寄居古墳)
＜佐賀県指定文化財＞

讃岐



土偶(鴨部・川田遺跡)
【香川県指定文化財】



勾玉・ガラス小玉
(旧練兵場遺跡)



銅鉄



環状青銅製品



ヒスイ製勾玉
(石動四本松遺跡)
＜佐賀県指定文化財＞



巴形銅器鑄型



流雲文縁獣帯鏡
(三津永田遺跡)
＜佐賀県指定文化財＞



ゴホウラム製腕輪(三津永田遺跡)



素環頭鉄刀(三津永田遺跡)＜佐賀県指定文化財＞

※遺跡名のないものは吉野ヶ里遺跡

吉野ヶ里とその周辺

— 倭人伝のクニを探る [V] —

よみがえる
邪馬台国

2023 9月23日(土)～11月12日(日)

弥生時代において玄界灘と並び中国や朝鮮半島からの文化流入の玄関口として重要な位置を占めていた有明海沿岸の拠点集落や王墓などの主要遺跡を紹介するシリーズの第2弾。

今回の展示では、朝鮮系青銅器である多紐細文鏡や青銅製ヤリガンナが出土した本村籠遺跡(佐賀市)、弥生後期の大規模な拠点集落である惣座遺跡(同市)、王墓と考えられる甕棺墓や箱式石棺墓から中国鏡をはじめとする青銅器・鉄刀・装身具が発見された三津永田遺跡(吉野ヶ里町)、椏島山遺跡(武雄市)、景華園遺跡(島原市)など有明海沿岸を代表する弥生時代遺跡の内容や最新の発掘調査成果を紹介します。

併せて、弥生文化の伝播や近畿と九州、本州と四国との交流において重要な航路であった瀬戸内海の中央部に面する讃岐(香川県)を取り上げます。

弥生時代の大規模な拠点集落跡である旧練兵場遺跡(善通寺市)、高地性集落の軍事的性格から、弥生時代の戦争を認識させた紫雲山遺跡(三豊市)、突線鈕式の銅鐸片が出土した天満・宮西遺跡(高松市)、全国的に出土例が少ない巴形銅器が出土した森広天神遺跡(さぬき市)など讃岐を代表する遺跡を紹介します。

上記の遺跡群と吉野ヶ里遺跡の内容を比較しながら、改めて邪馬台国の所在地や各クニの内容について検証します。

多くの皆様に御覧いただき、悠久の歴史の流れや、邪馬台国に関心をもっていただければ幸いです。

公園ご利用案内

○開園時間 9:00～17:00

○利用料金 団体は小学生以上の方20名以上

	一般	団体	年間パスポート
大人 (15歳以上)	460円	280円	4,600円
大人 (2日間通し券)	500円	340円	
シルバー (65歳以上)	200円	200円	2,000円
シルバー (2日間通し券)	240円	240円	
小人 (中学生以下)		無料	

○駐車料金

普通車:310円 大型車:1,050円 二輪車:100円

○交通のご案内

乗用車 長崎自動車道東脊振IC(約5分)→吉野ヶ里歴史公園

J R 鳥栖駅(約14分)→吉野ヶ里公園駅(徒歩約15分)→東口佐賀駅(約12分)



■お問い合わせ『吉野ヶ里公園管理センター』

TEL: 0952-55-9333 FAX: 0952-55-9330

〒842-0035 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町手 1843

http://www.yoshinogari.jp/

吉野ヶ里歴史公園 検索

特別記念フォーラム [先着100名]

よみがえる邪馬台国
「倭人伝のクニを探る[V]」

【聴講無料】

時間 13:00～16:40

場所 公園東口・歴史公園センター1F「多目的室」

2023
10月1日
開催

基調講演

高島 忠平氏 (佐賀女子短期大学 名誉教授)

大久保 徹也氏 (徳島文理大学 教授)

山下 裕雨氏 (島原市教育委員会社会教育課)

討論

吉野ヶ里遺跡、邪馬台国、そしてこれからの邪馬台国研究のあり方や方向性についての意見を展開していただきます。

【コーディネーター】高島 忠平氏

【パネリスト】大久保 徹也氏 山下 裕雨氏